

農地所有適格法人報告書

記載例

自 令和 ○ 年 △ 月 △ 日
至 令和 ○ 年 △ 月 △ 日

今回、報告する事業年度
を記載ください。

令和 ○ 年 ○ 月 △ 日

網走市農業委員会会長 様

【農地所有適格法人の「形態」要件】
以下のいずれかに該当すること。
・農事組合法人
・株式会社（公開会社でないものに限る）
・特例有限会社
・合同会社、合名会社、合資会社

主たる事務所の所在地 △△市△△町▲ー▲
法人の名称 株式会社□□ファーム
代表者氏名 代表取締役 網走 太郎
電話番号 ○○○○-○○-○○○○

次のとおり農地法第6条第1項の規定に基づき報告します。

網走市外に経営地がある場合は
記載ください。

記

1 法人の概要

経営面積(ha)	区 分	網走市			合 計
	田	ha	○○町		ha
	畑	55.5 ha	4.5		60.0 ha
	採草放牧地	ha			ha
	合 計	55.5 ha	4.5		60.0 ha
所有農地の有無	有 ・ 無				

2 農地法第2条第3項第1号関係

(1) 事業の種類

区分	農 業		左記農業に該当しない事業の内容
	生産する農畜産物	関連事業等の内容	
実績	澁原用馬鈴薯、甜菜、小麦	農産物輸送	除雪請負
翌事業年度の計画	澁原用馬鈴薯、甜菜、小麦	農産物輸送	除雪請負

【農地所有適格法人の「事業」要件】
・主たる事業が農業であること。
具体には、直近3か年の農業（農業関連事業を含む）の合計売上高が、
当該3か年の事業全体の売上高の過半（50%超）を占めていること。

(2) 売上高

年 度	農 業(農業関連事業含む)	左記農業に該当しない事業
報告対象年度の2年前(実績)	40,000,000 円	300,000 円
報告対象年度の1年前(実績)	47,500,000 円	330,000 円
報告対象年度(実績)	43,220,000 円	420,000 円
翌事業年度の計画	44,000,000 円	510,000 円

「翌事業年度の計画」欄は、農地を「所有」する農地所有適格法人のみ記載ください。以下3、4も同じ。

3 農地法第2条第3項第2号関係

構成員全ての状況

【「構成員」とは「出資者」のこと】

- ・農事組合法人の場合：組員（出資者）
- ・株式会社、特例有限会社の場合：株主
- ・合同会社、合名会社、合資会社の場合：社員（出資者）

(1) 農業関係者（権利提供者、常時従業員、農業協同組合、投資円滑化法に基づく承認会社、農業経営基盤強化促進法に基づく関連事業者等）

氏名又は名称	住所又は主たる事務所の所在地	国籍等	在留資格又は特別永住者	議決権の数		構成員が個人の場合は以下のいずれかの状況				農作業委託の内容
				株主総会	種類株主総会	権利の種類	面積	農地等の提供面積(㎡)	農業への年間従事日数	
網走 太郎	△△市△△町▲ー▲	日本		49		賃借権	150,000		直近実績(日数)	250
網走 花子	△△市△△町▲ー▲	日本		28					翌事業年度の計画(日数)	210
網走 次郎				3						150

【議決権の数】

- ・株式会社、特例有限会社の場合：出資株数（出資口数）
 - ・農事組合法人、合同会社、合名会社、合資会社の場合：1人1票（※）
- ※農事組合法人以外は、定款に別段の定めがある場合、この限りではありません。

その法人の行う農業に必要な年間総労働日数： 610 日

「農業」には、農作業のほか、**労務管理や市場開拓等を含む。**
詳細は記載要領の1を参照ください。

(2) 農業関係者以外の者（(1)以外の者）

氏名又は名称	住所又は主たる事務所の所在地	国籍等	在留資格又は特別永住者	議決権の数	
				株主総会	種類株主総会
株式会社〇〇	△市△△町▲ー▲	日本		20	

「種類株主総会」欄には、
会社法第108条第1項第8号に掲げる事項についての定めがある種類の株式を発行している場合に記載ください。

	議決権の数		議決権の割合	
	株主総会	種類株主総会	株主総会	種類株主総会
(1) 農業関係者	80		80%	
(2) 農業関係者以外の者	20		20%	
計	100		100%	

この欄は、以下①②の両方に該当する場合、記載ください。

①法人が、農地を「所有」する農地所有適格法人。

②総株主の議決権の100分の5以上を有する株主。

または

出資総額の100分の5以上に相当する出資をしている者。

主名簿の写しを添付してください。

特別措置法（平成14年法律第52号）第5条に

場合には、「その構成員が承認会社であること

を証する書面」及び「その構成員の株主名簿の写し」を添付してください。

4 農地法第2条第3項第3号及び第4号関係

(1)理事、取締役又は業務を執行する社員全ての農業への従事状況

氏名

住所

国籍等

在留資格又は特別永住者

役職

農業への年間
従事日数

必要な農作業への
年間従事日数

直近
実績
(日数)

翌事業
年度の
計画
(日数)

直近
実績
(日数)

翌事業
年度の
計画
(日数)

網走 太郎	△△市△△町▲-▲	日本		代表取締役	250	250	220	220
網走 花子	△△市△△町▲-▲	日本		取締役	210	210	200	200

・農事組合法人の場合：理事
・株式会社、特例有限会社の場合：取締役
・合同会社、合名会社、合資会社の場合：業務執行社員
を記載ください。

【「農作業」とは】
耕うん、整地、播種、施肥、病害虫防除、刈取り、
水の管理、給餌、敷きわらの取替え等
耕作又は養畜の事業に直接必要な作業。

(2)重要な使用人の農業への従事状況

氏名	住所	国籍等	在留資格 又は特別 永住者	役職	農業への年間 従事日数		必要な農作業への 年間従事日数	
					直近 実績 (日数)	翌事業 年度の 計画 (日数)	直近 実績 (日数)	翌事業 年度の 計画 (日数)

(2)については、(1)の理事等のうち、法人の農業に常時従事する者(原則年間150日以上)であって、かつ、必要な農作業に農地法施行規則第8条に規定する日数(原則年間60日)以上従事する者がいない場合にのみ記載してください。

○ その他(北海道独自調査項目、任意回答)

【就業者(常雇い)がない場合は「0」を記入のこと】

・ 新規採用の就業者(常雇い)の状況

	本事業年度	前事業年度
新規採用の就業者数(前職が農業及び下表①・②の外国人を除く)	1	0

・ 就業者(常雇い)の状況

	本事業年度	前事業年度
就業者数	2	0
うち外国人技能実習生①	2	0
うち特定技能外国人②	0	0
うち上記以外の外国人	0	0

※就業者(常雇い): 予め、年間7か月以上の契約(口頭での契約でもよい。)で主に農業(関連事業を含む)のために雇った人(期間を定めずに雇った人を含む。4(1)の理事等を除く)をいう。

※就業者数: 当該事業年度において雇った就業者(常雇い)の人数の合計をいう。

(記載要領)

1 「農業」には、以下に掲げる「関連事業等」を含み、また、農作業のほか、労務管理や市場開拓等も含みます。

(1) その法人が行う農業に関連する次に掲げる事業

ア 農畜産物を原料又は材料として使用する製造又は加工

イ 農畜産物若しくは林産物を変換して得られる電気又は農畜産物若しくは林産物を熱源とする熱の供給

ウ 農畜産物の貯蔵、運搬又は販売

エ 農業生産に必要な資材の製造

オ 農作業の受託

カ 農村滞在型余暇活動に利用される施設の設置及び運営並びに農村滞在型余暇活動を行う者を宿泊させること等農村滞在型余暇活動に必要な役務の提供

キ 農地に支柱を立てて設置する太陽光を電気に変換する設備の下で耕作を行う場合における当該設備による電気の供給

(2) 農業と併せ行う林業

(3) 農事組合法人が行う共同利用施設の設置又は農作業の共同化に関する事業

2 「2(1)事業の種類」の「生産する農畜産物」欄には、法人の生産する農畜産物のうち、粗収益の50%を超える
と認められるものの名称を記載してください。なお、いずれの農畜産物の粗収益も50%を超えない場合には、
粗収益の多いものから順に3つの農畜産物の名称を記載してください。

3 「2(2)売上高」の「農業」欄には、法人の行う耕作又は養畜の事業及び関連事業等の売上高の合計を記載し、
それ以外の事業の売上高については、「左記農業に該当しない事業」欄に記載してください。

4 「3(1)農業関係者」には、農林漁業法人等に対する投資の円滑化に関する特別措置法第5条に規定する
承認会社が法人の構成員に含まれる場合には、その承認会社の議決権の数とともに、その承認会社の株主の
氏名又は名称及び株主ごとの議決権の数を括弧書きで記載してください。

複数の承認会社が構成員となっている法人にあっては、承認会社ごとに区分して株主の状況を記載してくだ
さい。

また、法人が農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第16条の3第1項に規定する認定経営発展
法人である場合には、同法第16条の5に規定する提携事業者該当する構成員の氏名又は名称に○を付し
てください。

5 「議決権の数」及び「議決権の割合」の「種類株主総会」欄には、会社法(平成17年法律第86号)第108条第
1項第8号に掲げる事項についての定めがある種類の株式を発行している場合に記載してください。

6 農地中間管理機構を通じて法人に農地等を提供している者が法人の構成員となっている場合、「3(1)農業
関係者」の「農地等の提供面積(㎡)」の「面積」欄には、その構成員が農地中間管理機構に使用貸借による
権利又は賃借権を設定している農地等のうち、当該農地中間管理機構が当該法人に使用貸借による権利又
は賃借権を設定している農地等の面積を記載してください。

7 2、3及び4の翌事業年度の計画の欄は、報告に係る事業年度の翌年度の計画を記載してください。

8 2の翌事業年度の計画、3の住所又は主たる事務所の所在地、国籍等及び翌事業年度の計画並びに4の
国籍等及び翌事業年度の計画の各欄については、**農地を所有する農地所有適格法人のみ記載**してくだ
さい(ただし、3の住所又は主たる事務所の所在地及び国籍等の各欄については、総株主の議決権の100分
の5以上を有する株主又は出資の総額の100分の5以上に相当する出資をしている者に限る。)。

国籍等は、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第30条の45に規定する国籍等(日本国籍の場合は、
「日本」)を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて
記載してください。法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国(内国法人の場合は、
「日本」)を記載してください。